



ミドリムシは何を食べるの

ミドリムシには葉緑素があり、太陽の光で栄養を作りだす

ミドリムシは、ただ1つの細胞だけでできている単細胞生物で、池や水たまりにすんでいます。べん毛とよばれる長いひげのようなものを振って、水中を動き回ります。体の中に葉緑素をもち、太陽の光で栄養を作りだしています。

ミドリムシは分類上は植物

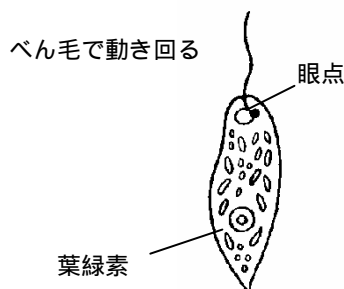
ミドリムシは動き回れるので動物のようですが、葉緑素をもつことで生物分類上は、植物の中に入られています。動物のように、何かほかのものを食べるわけではないので、口はありません。

しかし、眼点とよばれる光を感じる部分があります。光のある方向に集まる性質があります。

水の華

ミドリムシは少しよごれた池のほうが好きです。夏、ミドリムシが大発生すると池やぬまが一面青色になります。水の華とよばれます。(監修・中山 周平)

ミドリムシの実験



ミドリムシの入った容器におおいをする



ミドリムシは光のあたる部分に集まる

しばらく日のあたる場所におくと、集まったミドリムシで文字の形ができる

